福井県 公立高入試 社会 セット3 前半

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。
問1〜6（全12問の前半）

名前

出席番号　　必要な人は書く

問1　日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。社会権の代表的な権利であり、国が生活保護や社会保障制度を通じて国民の生活を支える根拠となっているこの権利は何ですか。

○ 勤労の権利　○ 教育を受ける権利　○ 生存権　○ 労働基本権

問2　自然災害による被害を最小限に抑える「減災」の観点から作成される、被害想定区域や避難場所、避難経路などの防災情報を地図上にまとめた資料を何と呼びますか。

○ 土地利用図
○ ハザードマップ（防災マップ）
○ 地形図
○ 路線図

問3　日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。

○ 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。
○ 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。
○ 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。
○ それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。

問4　日本の戦後経済の推移をたどると、1970年代前半に実質経済成長率が急激に低下し、それまでの安定した高い成長から一転してマイナス成長を記録する大きな転換点が見られます。この背景にある国際情勢と、その後の日本産業の変化について述べた文として正しいものはどれですか。

○ 中東地域での戦争による原油価格の高騰を受け、日本は省資源・省エネルギーを推進し、産業の中心を重化学工業から知識集約型の加工組立産業へと移行させた。
○ 東西冷戦の終結に伴い、市場が開放されたことで、日本は中国や東南アジアとの貿易額を飛躍的に増大させ、バブル景気を迎えた。
○ 朝鮮戦争に伴う特需が発生したことで、日本は戦後復興を加速させ、経済を自立させるきっかけをつかんだ。
○ プラザ合意による急速な円高を背景に、日本企業は生産拠点を海外へ移転させ、国内の産業が空洞化する問題が発生した。

問5　現代日本の地域社会が抱える課題の一つである「空き家問題」と防災の関係について、正しい説明を述べているものはどれですか。

○ 空き家問題の主な原因は新築住宅の不足であり、古い家屋を解体して新しい住宅を建てることで災害リスクは完全に解消される。
○ 管理不全な空き家が増えることで、地震発生時に建物が倒壊し、周囲の避難路を塞ぐなどの二次被害を招く危険性が高まっている。
○ 近年は「その他の空き家」が減少傾向にあるため、古い家屋の倒壊による災害リスクは以前よりも低くなっている。
○ 1980年以前の建物は現在の耐震基準をすべてクリアしているため、空き家が増加しても災害時の安全性に影響はない。

問6　地球儀や地図において、赤道からの距離が等しい地点を結んだ、赤道に平行な線の名称として正しいものはどれですか。

○ 緯線　○ 日付変更線　○ 本初子午線　○ 経線

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

福井県 公立高入試 社会 セット3 前半

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 日本国憲法第25条では、「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」と規定されています。社会権の代表的な権利であり、国が生活保護や社会保障制度を通じて国民の生活を支える根拠となっているこの権利は何ですか。

- ○ 勤労の権利
- ○ 教育を受ける権利
- ● 生存権
- ○ 労働基本権

問2 自然災害による被害を最小限に抑える「減災」の観点から作成される、被害想定区域や避難場所、避難経路などの防災情報を地図上にまとめた資料を何と呼びますか。

- ○ 土地利用図
- ● ハザードマップ（防災マップ）
- ○ 地形図
- ○ 路線図

問3 日本の歴史において、古代の律令国家の形成期と、近代の明治維新期の両方で共通して見られた「中央集権体制」の構築に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。

- ○ 地方の有力者が所有する私有地を認め、その土地の管理を各地域に任せることで国家の安定を図った。
- ○ 権限を地方の役所に分散させることで、地域の事情に合わせた柔軟な政治運営を行おうとした。
- ○ 武士や貴族が土地を世襲的に支配する権利を強化し、身分制度に基づく統治を徹底した。
- ● それまで地方の有力者が個別に支配していた土地や人民を、国家や天皇が直接支配することを目指した。

問4 日本の戦後経済の推移をたどると、1970年代前半に実質経済成長率が急激に低下し、それまでの安定した高い成長から一転してマイナス成長を記録する大きな転換点が見られます。この背景にある国際情勢と、その後の日本産業の変化について述べた文として正しいものはどれですか。

- ● 中東地域での戦争による原油価格の高騰を受け、日本は省資源・省エネルギーを推進し、産業の中心を重化学工業から知識集約型の加工組立産業へと移行させた。
- ○ 東西冷戦の終結に伴い、市場が開放されたことで、日本は中国や東南アジアとの貿易額を飛躍的に増大させ、バブル景気を迎えた。
- ○ 朝鮮戦争に伴う特需が発生したことで、日本は戦後復興を加速させ、経済を自立させるきっかけをつかんだ。
- ○ プラザ合意による急速な円高を背景に、日本企業は生産拠点を海外へ移転させ、国内の産業が空洞化する問題が発生した。

問5 現代日本の地域社会が抱える課題の一つである「空き家問題」と防災の関係について、正しい説明を述べているものはどれですか。

- ○ 空き家問題の主な原因は新築住宅の不足であり、古い家屋を解体して新しい住宅を建てることで災害リスクは完全に解消される。
- ● 管理不全な空き家が増えることで、地震発生時に建物が倒壊し、周囲の避難路を塞ぐなどの二次被害を招く危険性が高まっている。
- ○ 近年は「その他の空き家」が減少傾向にあるため、古い家屋の倒壊による災害リスクは以前よりも低くなっている。
- ○ 1980年以前の建物は現在の耐震基準をすべてクリアしているため、空き家が増加しても災害時の安全性に影響はない。

問6 地球儀や地図において、赤道からの距離が等しい地点を結んだ、赤道に平行な線の名称として正しいものはどれですか。

- ● 緯線
- ○ 日付変更線
- ○ 本初子午線
- ○ 経線